

平成 28 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

| | |
|--------------------|---|
| 研究領域名 | パレオアジア文化史学—アジア新人文化形成プロセスの総合的研究 |
| 領域代表者 | 西秋 良宏（東京大学・総合研究博物館・教授） |
| 研究期間 | 平成 28 年度～平成 32 年度 |
| 科学研究費補助金審査部会における所見 | <p>本研究領域は、アジアにおける新人（ホモ・サピエンス）の文化形成に関わる複雑なプロセスに焦点を当て、考古学、歴史学のほか、文化人類学、形質人類学、人類生態学、遺伝学、年代学等の多様な学問分野からアプローチすることで、新たな文化史の構築を試みる野心的な提案である。アジアにおける新人の拡散と定着およびそれに伴う文化変動の解明は、ヨーロッパ・生物学が中心という既存の研究動向に一石を投じ、総合的な人類史の構築につながると期待される。今日の人間とは何かを考える上でも重要で、国際的に大きなインパクトを持ち得る研究である。領域推進の計画についても、これまでの研究課題の経験と蓄積を踏まえて詳細かつ具体的に示されており、過去の採択領域からの飛躍的な発展が見込まれる。</p> <p>一方で、本研究領域における実証的解析（研究項目 A）と理論的解析（研究項目 B）の融合、及び、人間集団の文化・行動変化に関する多様なデータをどのように現象数理的モデルに組み入れるのかという点についてはやや不明瞭である。</p> <p>個々の研究成果を新たな文化史の構築に着実に結び付けるためにも、領域全体として研究項目間・計画研究間の有機的な繋がりを構築するとともに、総括班を中心とするより精緻かつ実行可能性の高い枠組みの確立が望まれる。</p> |